

曹洞宗の行事

得度式

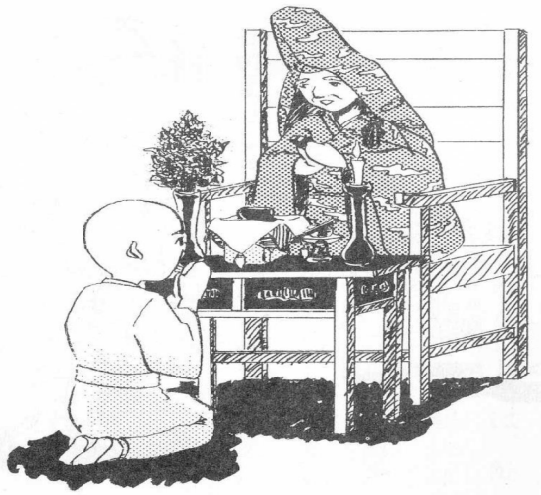
—得度ってなあに—

来年をめざして

二回に亘って「わきみず」に掲載いたしました「曹洞宗の行事」晋山式の説明で少しは晋山式の意味が解って来たかと思えます。今回から「法戦式」てなあにの説明をしてなあとお坊さんが、その前にお坊さんに成る前にまず最初にしなければなら

「得度式」を取り上

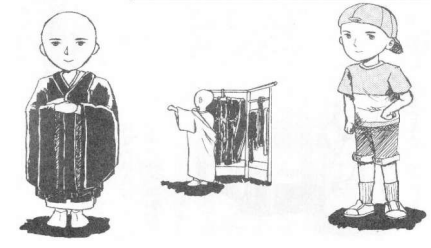
ことです。では、お坊さんになるとい



発心の人に出家の功德を説いている

ことは、どういう事なのでしようか。それは、仏さまの教えを人びとに説き、多くの方がたを救う決心をするということ。それは本当に大変なことなので、今までの生活を捨てるくらいの覚悟が必要とされま

「授菩薩戒法」です。最初の「剃度作法」の中心となるのは、髪を剃ること。そして、「直裾」といわれる袖の大きな黒い衣、そしてお坊さんの名前(安名)をいただきます。最後に、お坊さんが身につける「お袈裟」や食事の「道具」である「鉢」をいただきます。ちなみに、得度式のことを別名「剃度式」「剃髮式」とも呼ぶのは、最初に髪を剃る儀式を行うためです。次の「授菩薩戒法」とは、「菩薩戒」という、お坊さんとして守るべきルール(戒)を受けられる儀式です。このルールには、「三帰戒」「三聚淨戒」「十重禁戒」の三種類があります。お坊さんとしてのルールもあ



在家者から出家者へと移る

ことが必要です。こうした考えから得度の儀式は、大きく二つに分かれています。一つはお坊さんの姿となる「剃度作法」、もう一つは、きまりや心構えを授ける

を知り、それを守って、いこうという心構えを持つことが、得度式において最も重要なことなのです。得度式は、仏教のおこったインドで古くから行われていました。インドでは、髪を剃って、しばらく見習い期間(沙弥)を経験してから、その後正式なお坊さんになるための戒を授けられました。このようなインド以来の伝統を踏まえて、「剃度作法」と「授菩薩戒法」とに分かれています。次回からは、「剃度作法」と「授菩薩戒法」についてお話したいと思



仏教の第一人者 釈迦無尼仏

今さら聞けない お盆ってなあに?

今年もお盆がやってきました。東京などは旧暦という事で七月盆で行いますが、私達の地区では月遅れの八月盆です。もともと盆は、亡くなった親を思う心から集まったものなんです。お釈迦さまの十大弟子の一人が目連という方は、お弟子の中でも神通第一といわれていますが、またこの方は大変な母親思いで、ある時、死んだ母親を神通力でたずねますと、母親が餓鬼道に落ちて苦しんでいる...。それを救おうとお釈迦さまに相談すると、七月十五日の雨期の修行あけの日に供養をなささいといわれたので、その日に大勢のお坊さんに施し物をして母親の供養をした。それがお盆のはじまりといわれています。

お盆の期間は、入りの日が十三日、明けの日は十六日です。前、四日間です。大体、前の日の十二日に仏壇をきれいに掃除し、お位牌も拭いて花をとりかえ、「精霊棚」

十六日(土地によっては十五日)は送り火といつて、ご先祖さま、仏さまを送る日です。このときは、家の精霊棚のローソクの火を提灯にうつして、消さないようにお墓まで持って行き、お墓参りをしてから灯を消します。ご先祖の霊を再び霊の世界に送りかえす、という気持ちからはじまったのが送り火の行事です。お盆は、先に逝かれた亡き人々やご先祖さまと、心を通い合わせる大切な行事です。こまやかな心くばりで迎えたいものです。

私達の斗内地区では、十三日に準備をして十四日と十五日の二日間がお盆の様ですが、私自身不思議でならないのです。この地区だけみたいですが、なんで?、いつのころからこうなったのか解る方はいますか是非教えてください。答えが出たら次回号に掲載したいと思います。

今年のお盆の予定

平成二十二年 六月二十六日より 平成二十三年 六月二十五日まで 逝去された方です。(お盆(八月十三日)までに四十九日を終えられた霊位です)

6月と8月の境内草刈り

毎年恒例の草刈りと草取りを年二回お願いしている訳ですが、今年の当番は、6月に上本村 荒屋 秀一さん担当(団子坂、椀ノ木の3地区の方々にお願い致しました。ごくろうさまでした。大変綺麗にして頂きました。ありがとうございました。)

二回目は、8月6日(土)早朝6時より、上本村 湊芳己さん担当(高間館 田畑耕治さん担当(高間館 戸野光壽さん担当)の各地区にお願い致します。(雨天の場合は次の日となります)

お盆の期間は、入りの日が十三日、明けの日は十六日です。前、四日間です。大体、前の日の十二日に仏壇をきれいに掃除し、お位牌も拭いて花をとりかえ、「精霊棚」

また夜に帰ってくるかもわからない仏さまのために、十三日の夕方には門口で松をたいて、あなたのお家はここですと教えてお迎えしますが、そ

施食会のご案内

八月十四日(日曜日) 午前十一時より

当寺本堂に於いてご供養します。

同封の申し込み用紙に 供養料 一千元 お名前を記入し 当日日本堂受付まで お持ちください。

※尚、当日お出でにならない方は、前もって、随時受付いたしますので、お問い合わせください。

